

交換留学体験記：アーカンソー大学

人間科学部人間科学科 3年

大城 久李亜

1月からアーカンソー大学での留学生活がスタートして約1か月が経ち、だんだんここでの生活にも慣れてきました。このレポートではその1か月間での経験を振り返りたいと思います。

1. アメリカ到着

飛行機の遅延や大雪でばたばたはしましたが、1日目はホテルに到着し、そこで1泊しました。次の日に大学側のボランティアの方が私のアパートまで車で送ってくださり、毛布やフライパンなど生活に必要なものなどもほとんど寄付により無料でもらうことができました。アーカンソー大学では無料のシャトルバスや、週に数回ある food pantry、留学生向けのイベントなど学生へのサポートがとても充実しているととても感じます。



大学のイメージカラーは赤でイメージキャラクターはイノシシ?です(いたるところにいます)



来て2日目で大雪が降りました(雪が降ることは珍しく、整備等の都合で学校がすぐに休みになるそうです)

2. その後の1週間

授業の初日が始まるまでに1週間程度あり、その期間では留学生向けのオリエンテーションや他の交換留学生との顔合わせ、大学案内などがありました。また、毎日のようにランチやディナーを食べるイベントもあり、そこで他の留学生の子と親睦を深める機会もたくさんありました。



バスケのチケットを無料でもらったので交換留学生の子たちと観戦に行きました！



気温が低すぎて大学内の噴水が凍ってました（マイナス何度になる日も多々あります）



オリエンテーションの様子
（スポーツ観戦での応援の練習もさせられました）

3.春学期スタート

授業は14単位(現地の生徒だと15~18単位が平均的な印象)で毎日授業があります。私が取った授業はすべて1、2年生向けの授業でそこまで話も専門的なものでもないため、今のところは何となくやり過ごすことができます。その中でも College Algebra の授業は下手したら日本の中学レベルの内容で、せっかく留学に来たのに、と、少しとったのを後悔しています。しかし、講義で言っていることを完璧に理解できるわけではないし、他の生徒と議論するとなるとなかなか難しいと感じる場面が多いので、まだまだ課題点がたくさんあるなとここにきて痛感しています。

以上が私のはじめの1か月での体験になります。1か月が経つのもとても早く感じますが、充実した生活を送ることができています。これからの留学生活も、英語の勉強や授業の課題にもしっかり取り組みつつ、実りある体験ができたかなと思います。